

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)宇部興産 機能膜 堺 第1工	階数	地上2F
建設地	大阪府堺市西区築港新町3 丁1-1	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2015年11月20日
敷地面積	462,983 m <sup>2</sup>	作成者	(株)大林組 伊藤春彦
建築面積	3,713 m <sup>2</sup>	確認日	2015年11月20日
延床面積	4,238 m <sup>2</sup>	確認者	(株)大林組 伊藤春彦



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE1.1** ★★★★★☆☆☆☆

☆: S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	67%
③上記+②以外の	67%
④上記+	67%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 宇部興産株式会社工場内の一部に増設となる事から、基本的に既存建物を踏襲した計画とする。用途の特性に見合う効率性・経済性の発展に努めるだけでなく、省エネルギー性向上にも積極的に取り組む事で、地球環境保護へ貢献する。また、建設工事においても、騒音・振動・塵埃浮遊を抑えた計画とする。		高支持力杭の採用による杭径削減。排土量の低減。廃棄物発生を抑制する。杭工法には埋め込み工法を採用し、工事中の騒音・振動に配慮する。
<b>Q1 室内環境</b> クリーンエリアとダーティーエリアを明確にし、作業動線に見合う計画として、クリーンルーム用途に適した断熱性及び気密性を確保する。作業員の快適な作業空間を確保する。	<b>Q2 サービス性能</b> 躯体構造や形状・階高に十分な余裕も見込む事で、将来の改修工事や用途変更にも、柔軟に対応可能な計画とする。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 宇部興産株式会社工場内の一部に増設となるので、基本的に地形・自然特性をそのまま活かす計画とする。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明器具により、エネルギー消費量を抑えた省エネルギー設計を企図する。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 有害物質を含まない材料の選定や、オゾン破壊係数の少ない断熱材を採用する事で地球環境の保護に努める。節水型衛生器具の採用による水資源保護に努める。	<b>LR3 敷地外環境</b> エネルギー消費量を抑えた省エネルギー設計とする事で、CO <sub>2</sub> 排出量低減を図る。定められた汚水の排出基準を満たす事で、インフラへの負荷抑制に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)宇部興産 機能膜 堺 第1 工場	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市西区築港新町3 丁1-1、5、6、7、8、13、15、16、17、18、19、20、21、22、27、4 丁1-1、2	1.1	B+
	主用途/延床面積	工場 / 4,238.01 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	2	● ● ● ● ●

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			4.3	4
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコア による評価値	建物全体	0.0	3	
		住居・宿泊部分	0.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				0.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				3.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				4.0
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				3.0
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			2.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			0.0	2
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			1.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			0.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	
エネルギー消費量を抑えた省エネルギー設計に取り組む事で、CO <sub>2</sub> 排出量低減を図る。	